

平成31(2019)年度 江戸川区立南小岩第二小学校 学校関係者評価 最終評価用報告書

<p>学校教育目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 考える子 ○ 思いやりのある子 ○ 健康な子 	<p>目指す学校像 目指す児童像 目指す教師像</p>	<p>○「温かい心(敬愛・思いやり・感謝)」「確かな学力」「地域への貢献性」を育てる学校 ○よく聞いて、見て、話し合っ、体験を生かして考える子。互いに助け合い、人、物、自然を大切に 子。心身ともにたくましく、めあてをもってねばり強くやりとげる子。 ○子供を育む信念をもつ教職員。児童・保護者・地域の人々、社会、自然とのかかわりの中で、様々な課題に気付く教職員。課題を解決するために、主体的に考え、新たな発想を生み出すことのできる教職員。考えや発想を適時に実践に移すとともに、自己評価を適切に行い研鑽する教職員。</p>
<p>前年度までの学校経営上の成果と課題</p>		<p><成果>校内研究による「書く力」の向上。体験的活動、図書館活用の推進。児童の運動意欲の向上。算数科習熟度別指導の継続による基礎学力の向上。学校の安全管理体制の強化。 <課題>挨拶運動の推進による、挨拶意識の一層の向上。各教科における基礎基本の定着。特別支援教育の一層の促進、保護者への周知、PR。</p>

教育委員会重点課題	取組項目	評価の視点	具体的な取組	数値目標	自己評価			学校関係者評価		来年度に向けた改善策
					取組	成果	成果と課題	評価	コメント	
特色ある教育の展開	①小中連携教育の推進	「小中連携教育構想」及び「各教科等の連携教育プログラム」による連携の充実	教員、児童、地域との交流毎学期実施・食育を柱にした連携、毎学期実施	全教職員、第6学年全員が参加・交流、保護者への周知70%以上	B	B	計画通り実施ができた。教科間での連携が課題である。	B	計画的に進行している事に満足している。	来年度の計画に従い計画的に進行していく。
	②体験的活動の推進	縦割り版活動、高齢者とのふれあい、ボランティア活動の推進、鼓笛隊の実施、外部人材の活用	縦割り版活動毎月、外部人材活用・高齢者との交流年1回以上、清掃朝会毎月、鼓笛隊高学年全員参加	実施率100% 保護者満足度85%	A	A	各体験活動の実施計画を作成することで継続的な指導を実施した。	A	縦割りの見直しとともに、自主性が育つ機会である。	活動の見直しとともに、継続を図る。
	③あいさつ運動の推進	あいさつ運動の取り組みを通した、言語環境の整備及び思いやりの心の育成	あいさつ運動(あいさつ名人)の全校年間実施	挨拶実施の意識児童80%以上、保護者満足度80%以上	A	B	あいさつ名人を年間を通して、実施し、その効果が校内で表れた。	A	学校内で挨拶はよくできていると思う。	あいさつ名人を継続する。
教員の資質向上	④教員研修の充実	ICTアシスタントによる校内研修の実施によるICTを活用した教員の授業力の向上	教員研修毎学期実施。デジタル教科書、電子黒板等を毎日活用	実施率全教員100% 保護者満足度80%以上	A	A	各教科での活用が定着した。タブレットの使い方が課題である。	A	活字離れにならないように工夫していただきたい。	アナログ教材とデジタル教材の併用を図る。
	⑤特別支援教育の推進	校内委員会の活性化を図ることなどによる指導・支援の充実	特別支援関連研修年3回以上実施、全学級での個別指導の充実	特別支援研修会全員参加 関係保護者満足度85%以上	A	B	研修会を2回実施。学びのユニバーサルデザインの理解が浸透した。	B	教室内に落ち着いてきたと感じる。	今後も全教職員での共通認識と対応に努める。
	⑥校内研修の活性化	授業観察、校内研究、若手研修、伝達研修等による教員の授業力の向上	全教職員による研究授業、若手研修受講又は指導全員、伝達研修の実施	全教職員実施率100% 保護者満足度90%以上	A	A	主任教諭以上の教員が年間を通して、研修会を実施した。	A	教員が連携されている様子が頼もしい。	研修会の継続と内容の充実を図る。
いきいきと学ぶ教育の充実	⑦確かな学力の向上	「確かな学力向上推進プラン」の実施・改善や補習等による指導の充実と授業力の向上	補習実施各学級年35回以上、プランに基づく授業改善	補習実施率100% 保護者満足度85%以上	A	B	スキリタイムという名称で計画に基づき各学級で補習を実施した。	A	補習があるのはありがたい。今後も継続してほしい。	年度当初の予定通りに年間を通じて実施する。
	⑧読書力の更なる充実	学校図書館の整備・活用の推進や探究的な学習の充実	読書科、朝読書週2回、読書週間年2回、目的読書及び探求的活動の推進	実施率100% 保護者満足度95%以上	A	A	探求的な学習を校内研究に生かし、児童の情報収集・整理・分析力が向上した。	A	読書の習慣には環境が必要。家庭での率先に努めてほしい。	情報収集・整理・分析力を他教科に生かしていく。
	⑨体力の向上	体育の授業や休み時間における主体的な運動の実施による運動意欲の向上	二小タイム10分間運動毎週、外遊びの奨励年間、10月から持久走、大縄大会の継続練習	実施率100% 保護者満足度90%以上	A	B	体力テストの分析を基に体育部が二小タイムの進行改善を実施した。	A	先生方も一緒に運動してくれていて子供たちが楽しそう。	年間を通した体育的活動を継続させる。
	⑩オリパラ教育の推進	「オリンピック・パラリンピックレガシー創造プラン」に基づく取組やオリパラコーナーの充実	全学級でのオリパラ教育、毎学期実施 外部講師の活用、年2回	各学級で完全実施 保護者への周知75%以上	A	B	「夢未来プロジェクト」として、パラリンピアンを6月に招集した。	A	この先の自己肯定感につながればよいと思う。	伝統文化的な外部講師の活用を継続する。
	⑪外国語教育の推進	授業力の向上とALTの効果的な活用	EnglishRoomの整備、教材の充実、教員の授業力の向上及びALTとの効果的な連携	保護者の満足度80% 学校関係者評価A	B	B	ALTとの連携が充実した1年間であった。	B	効果的な連携を引き続き実施してほしい。	イングリッシュルームの活用を図る。
	⑫基礎基本の徹底	ベシンドリル・eライブラリアドバンス等を活用した基礎基本の徹底、保護者との連携、	ベシンドリル毎学期実施、二小スタンダードの徹底、基礎タイムの実施、家庭学習習慣の確立	全学級での実施率100% 保護者満足度90%以上	B	B	4月に二小スタンダードを新たに作成。共通認識の強化を図った。	B	新たに作成されたものが生かされることを期待したい。	二小スタンダードの継続と改善。
	⑬いじめ・不登校等の対応	いじめ・不登校に応じた未然防止と早期対応に関する対応の充実	変化を把握した時点で即時情報共有、生活指導連絡会毎週(金)、いじめ防止授業・SNS東京ルール毎学期実施	共有率100% 当該保護者満足度90%以上	A	B	情報収集とともに支援センター等への通報・連携といった即対応に努めた。	A	即対応がされていると感じる。	保護者への啓発に努める。
⑭道徳教育の推進	⑬いじめ・不登校等の対応	スクールカウンセラー等との連携による相談体制の充実	必要に応じた対策委員会の即時実施、第5学年児童全員面接の実施	事実把握後、速やかに対応策を検討、1週間以内に行動、全員面接実施1学期中	A	B	必要に応じ、委員会の即時実施と第5学年の全員面接を実施できた。	A	落ち着いた対応をしていただいていることに感謝している。	ひとつの事案を3日以内で収束させていく。
	⑭道徳教育の推進	全教育活動に位置付けた道徳教育の推進 道徳授業地区公開講座での啓発	道徳教育計画に基づく完全実施、全学級授業公開・特別の教科道徳の確実な実施、全学級	実施率100% 道徳教育に関する保護者満足度85%以上	B	B	年間計画に基づいた教科としての道徳の授業の充実が図れた。	B	継続していただきたい。	議論する道徳を引き続き進める。
	⑮安心安全な学校づくり	危機管理マニュアル(災害、けが、アレルギー等)に基づく全職員の協力体制、校内危険箇所への速やかな対応、	毎月各種訓練の実施、毎月安全点検に基づく修理、玄関等の施設徹底、週ごとの指導計画への安全管理	実施率100% 保護者満足度90%以上 学校関係者評価A	A	B	毎月の安全点検の確実な実施。一人一人の意識改革が行われた。	A	安心・安全な学校を引き続き実施していただきたい。	校外での安全教育を継続していく。
⑯働き方改革組織力の向上	⑯地域との共育・協働	PTA活動、地域行事への積極的な参加、HP等による情報公開・学校公開の推進、学校応援団との連携	全教員1回以上参加・協力、HPの更新毎週、学校公開毎学期、学校応援団との連携毎学期	保護者満足度90%以上 学校関係者評価A	A	B	学校応援団との連携の下、学校図書館の整備を実施した。	A	学校や地域への理解を深める必要性を感じる。	学校図書館の整備を継続していく。
	⑯働き方改革組織力の向上	4thの積極的な活用、学校予算の計画的執行、文書起案・ラインによる進行管理の徹底、週ごとの指導計画に基づく教育活動	会議時間の短縮・効率化、予算の年内執行、文書起案完全実施、週ごとの指導計画毎週全員提出	保護者評価90%以上 学校関係者評価A	A	A	働き方改革の効果が表れている。	A	会議の短縮など対応がはやく行われている。	残業時間のさらなる減少に努める。